

○関東・中部地方の地震活動

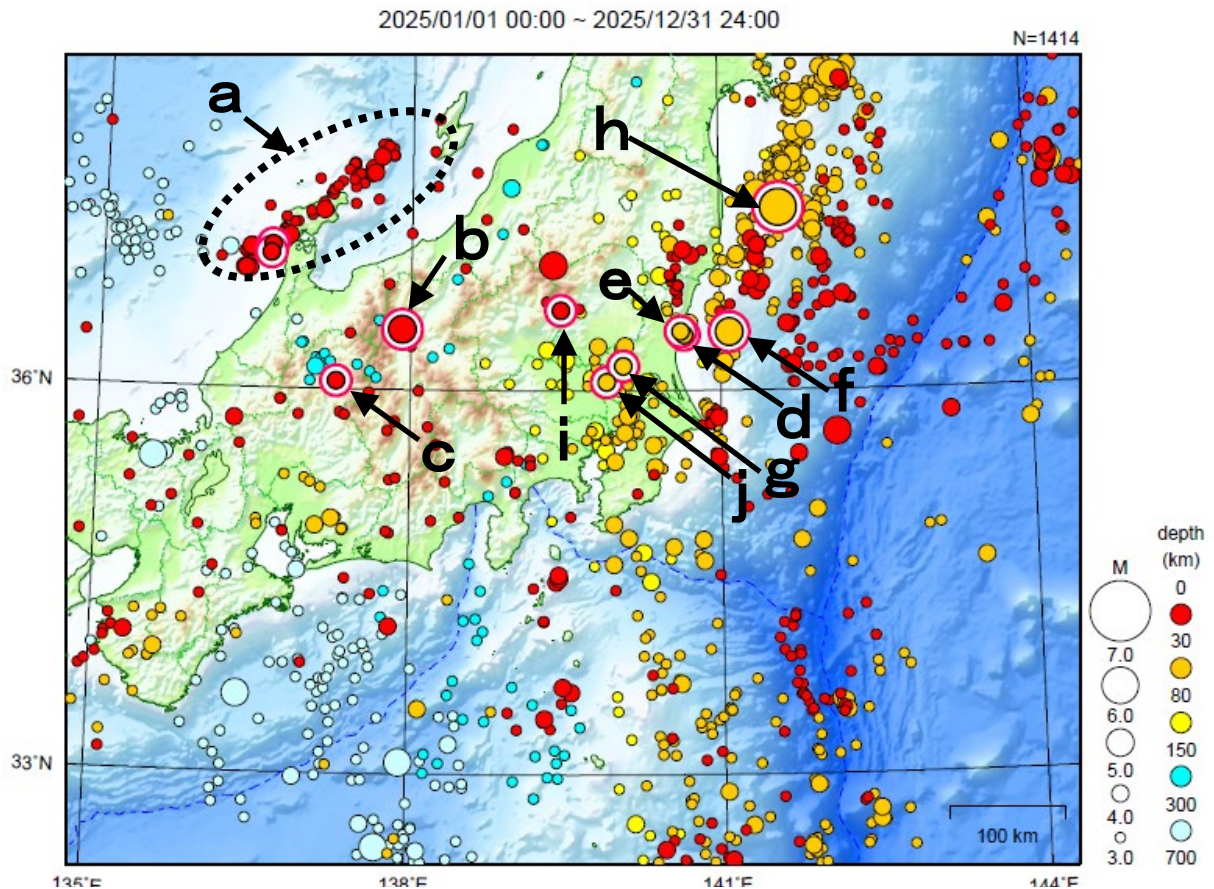


図7 関東・中部地方の震央分布図（2025年1月1日～12月31日、 $M \geq 3.0$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2

〔概況〕

2025年に関東・中部地方で震度4以上を観測した地震は13回（2024年は86回）であった。
2025年中の主な活動は次のとおりである。

- a 「令和6年能登半島地震」の活動について、地震発生数は増減を繰り返しながら大局的に緩やかに減少してきているが、2025年中に震度1以上を観測した地震は125回（震度4：2回、震度3：8回、震度2：21回、震度1：94回）発生するなど、活動は継続している。2024年1月1日以降の一連の地震活動により、死者698人などの被害が生じた（2025年12月25日18時00分現在、総務省消防庁による）。
3月19日13時25分に能登半島沖の深さ6kmで $M4.7$ の地震が発生し、石川県志賀町で震度4を観測したほか、中部地方および滋賀県で震度3～1を観測した。
12月14日23時26分に石川県西方沖の深さ8kmで $M4.9$ の地震が発生し、石川県志賀町で震度4を観測したほか、中部地方および滋賀県で震度3～1を観測した。
- b 4月18日20時19分に長野県北部の深さ13kmで $M5.1$ の地震が発生し、長野県大町市、小川村及び筑北村で震度5弱を観測したほか、中部地方と関東地方で震度4～1を観測した。また、同日23時39分に長野県北部の深さ13kmで $M4.5$ の地震が発生し、長野県松川村及び小川村で震度4を観測したほか、中部地方と群馬県で震度3～1を観測した。さらに、19日01時02分に長野県北部の深さ12kmで $M4.3$ の地震が発生し、長野県大町市、松川村及び小川村で震度4を観測したほか、長野県、新潟県、群馬県、山梨県で震度3～1を観測した。長野県北部では、4月18日から30日までに、これらの地震を含めて震度1以上を観測した地震が65回（震度5弱：1回、震度4：2回、震度3：3回、震度2：13回、震度1：46回）発生した。これらの地震は地殻内で発生した。これらの地震により、長野県で住家一部破損5棟の被害が生じた（2025年11月14日17時00分現在、総務省消防庁による）。

- c 5月29日15時28分58秒に岐阜県飛騨地方の深さ12kmでM4.5の地震が発生した。この地震の約16秒後に、ほぼ同じ場所でM4.5の地震が発生した。これらの地震により岐阜県高山市で震度4を観測したほか、中部地方及び近畿地方で震度3～1を観測した。これらの地震は地殻内で発生した。
- d 6月25日13時51分に茨城県沖の深さ54kmでM4.2の地震が発生した。この地震により茨城県東海村で震度4を観測したほか、福島県及び関東地方で震度3～1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。
- e 7月15日23時47分に茨城県北部の深さ56kmでM4.9の地震が発生した。この地震により茨城県笠間市及び栃木県市貝町で震度4を観測したほか、関東甲信地方、東北南部、静岡県及び新潟県で震度3～1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。
- f 8月14日04時13分に茨城県沖の深さ47kmでM5.2の地震が発生した。この地震により茨城県笠間市で震度4を観測したほか、東北地方、関東甲信地方、新潟県及び静岡県で震度3～1を観測した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。
- g 9月5日21時00分に茨城県南部の深さ46kmでM4.4の地震が発生した。この地震により栃木県下野市で震度4を観測したほか、福島県、関東甲信地方及び静岡県で震度3～1を観測した。この地震はフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。
- h 10月5日00時21分に福島県沖の深さ45kmでM6.0の地震が発生し、福島県双葉町で震度4を観測したほか、東北地方、関東甲信越地方及び静岡県で震度3～1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。関東中部地方では震度3～1を観測した。
- i 10月26日12時04分に栃木県北部の深さ5kmでM4.7の地震が発生した。この地震により栃木県日光市で震度4を観測したほか、東北南部、新潟県、関東甲信地方及び静岡県で震度3～1を観測した。この地震は地殻内で発生した。

- j 12月12日19時05分に茨城県南部の深さ52kmでM4.9の地震が発生した。この地震により関東地方で震度4を観測したほか、東北南部、新潟県、関東甲信地方及び静岡県で震度3～1を観測した。この地震はフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

（図の範囲外）

7月30日08時24分（日本時間）にロシア、カムチャツカ半島東方沖の深さ35kmでMw8.8（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）の地震が発生し、北海道釧路・根室地方で震度2を観測したほか、北海道から九州地方にかけて震度1を観測した。この地震により、岩手県の久慈港^{（注1）}で141cm^{（注2）}など、太平洋沿岸を中心に北海道から沖縄県にかけて広い範囲で津波を観測した。この地震は太平洋プレートと北米プレートの境界で発生した。

関東・中部地方では、茨城県の神栖市鹿島港^{（注1）}で81cm^{（注2）}、東京都の八重根で1.0m^{（注2、3）}など、茨城県から三重県及び、伊豆諸島から小笠原諸島にかけて津波を観測した。また、この地震により、三重県で死者1人の被害が生じた（2025年11月14日17時00分現在、総務省消防庁による）。

12月8日23時15分に青森県東方沖の深さ54kmでM7.5の地震が発生し、青森県八戸市で震度6強を観測したほか、北海道から近畿地方にかけて震度6弱～1を観測した。また、青森県三八上北で長周期地震動階級3を観測したほか、北海道から関東地方にかけて及び新潟県で長周期地震動階級2～1を観測した。この地震により、北海道から東北地方にかけての太平洋沿岸を中心に津波を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

関東・中部地方では、8日の地震により茨城県常陸太田市で震度4を観測した。

（注1）国土交通省港湾局の観測施設。

（注2）観測値は後日の精査により変更される場合がある。

（注3）巨大津波観測計により観測されたことを示す（観測単位は0.1m）。